

歴認研役員名簿・活動目標・活動記録

歴史認識問題研究会・役員名簿（令和2年9月現在）

会長：西岡 力（モロロジー研究所教授・麗澤大学客員教授）
 副会長：高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・モロロジー研究所教授）
 事務局長：勝岡寛次（明星大学戦後教育史研究センター）
 同次長：長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）
 監査：島田洋一（福井県立大学教授）
 顧問：伊藤 隆（東京大学名誉教授）
 顧問：櫻井よしこ（ジャーナリスト）
 顧問：田中英道（東北大学名誉教授）
 顧問：渡辺利夫（拓殖大学学事顧問・前総長）

歴認研活動目標

- 1、歴史認識問題の今日的状況の研究。歴史認識問題がいかなるプロセスで、どのような勢力により表面化し、拡散していったかについて、背景にある動きを含む体系的研究を行う。
- 2、歴史的事実の実証的研究。歴史認識問題にまつわる日本非難に対して、当時の歴史的事実に基づく反論の材料を提供する。
- 3、関係者の証言の整理、散逸している関係資料の収集。
- 4、公開シンポジウム・研究会の開催、研究誌『歴史認識問題研究』の年2回発刊。
- 5、研究を土台にしたネット発信、英語による冊子発行、研究書英訳事業などの国際発信。必要に応じ、政府や関係機関などへの提言も行う。
- 6、若手研究者と歴史教育実践者の育成を通じた歴史教育への貢献。

定期研究会開催記録（第54回～第59回）

回	日時	講師（肩書）	テーマ
54	2.3.13	岡島実（弁護士）	微用工問題：韓国大法院批判と日韓法律家共同声明の意義
		西岡力（麗澤大学客員教授・本会会長）	植村裁判高裁判決報告
55	2.6.12	勝岡寛次 （明星大学戦後教育史研究センター）	検定済中学歴史教科書全8社に見る、歴史認識問題 （付）自由社教科書「一発不合格」問題の背景にあるもの
		高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授）	自由社中学歴史教科書「一発不合格」の奥にある根本的問題
56	2.6.26	久保田り子（産経新聞論説委員）	反日種族主義と日本人
		下川正晴 （元毎日新聞論説委員・ソウル支局長）	戦後別府と戦後日本のゼロ年代
57	2.7.17	下條正男（拓殖大学教授）	反日種族主義としての竹島問題
		木村光彦（青山学位大学名誉教授）*	収奪論について
58	2.7.24	長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	ユネスコに登録された「南京大虐殺」資料を整理する
		有馬哲夫（早稲田大学教授）*	ウォーギルトインフォメーション・マインドセット
59	2.8.28	崔碩榮（ノンフィクション・ライター）	韓国の兄妹スパイ事件でみる日韓のコネクション
		ジェイソン・モーガン （麗澤大学准教授）**	フェイク・ヒストリー：1619プロジェクトと文化マルクス主義の実り

武漢ウィルスの影響で、4～5月に予定していた研究会は延期した。*はZoom、**はスカイプによる遠隔会議。